

# 教育合同

2026年6月15日  
第728号

1部10円(組合員は組合費に含む)  
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)  
発行人 高田 晴美  
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

## 第38回定期大会

5月30日、第38回定期大会がエルおおさかで開催されました。労働に対する考え方が、若い世代では希薄になっているそうです。売り手市場のせいなのか、仕事で大切なのはワークライフバランス、働く目的はお金。目指すはFIRE、Financial Independence Retire Early、配当金や利回りなどで経済的自立をし、早期退職をする生き方をよしとする風潮があるそうです。

避けるはJTC、Japanese Traditional Company 伝統的な日本企業。そこはおもしろくない(学校も当てはまるかな?)と書かれた本を紹介しつつ、目の前で起こっていることから、かけ離れた世界で「格差」を感じます。組合の扉を叩くのは、長時間労働、低賃金、ハラスメント、それに伴って起こる体調不良、心の病。労働組合が困った事象に取り組むことは今も昔も同じ、がんばろうとの執行委員長の挨拶に続き、議事が始まりました。今年も修正案はありません。しかし、教育の問題、課題は尽きません。角度の違う悩みの種は組合の運営です。会計監査から組合費の未収額が報告され、愕然としましたが、気を取り直して分科会に進みます。



### 【第1分科会 デジタル教育の課題】

デジタル教育の取り組み状況は学校、校種によりかなりバラツキがありますが、小学校における「こころの天気」等の児童一人ひとりにその日の状態を入力させる「取り組み」は、教員にとっても子供たちにとっても負担ばかりが大きく、かえってフェイスtoフェイスで子どもたちと直に接して直接把握する営みを阻害するという声が多数上がっていました。以下、出た意見を紹介します。

・北欧等のかつての「デジタル教育先進国」では、すでにデジタル教育では学力が付かないのではないか、という議論が起きており、日本は周回遅れではないかと心配されます。

・文科省から下りてくる補助金目当てで、「利用率」を上げることばかりに汲々とし、特定業者との癒着も疑われる実態があります。

・電磁波による健康被害の問題も心配です。大手アプリ業者はバックドアを持っており、個人情報が抜き取られている

危険性にもっと目を向けるべきです。AIの情報は、どこから来ているのかを学ぶべきです。

・今後、ネット・リテラシー、オンライン・ヘイトに対する

批判力を高めないと人権侵害が計り知れないものになっていく恐れがあります。

### 【第2分科会 給特法ではない私学の労働実態】

参加者は私学勤務経験者が多く、それぞれの勤務校の実態報告を行った。公立と同様に私学も慢性的な長時間・過重労働で、就業時間内に仕事が終わることはほとんどなく、当然時間外に及ぶ。これに対して私学は給特法の適用ではないので、時間外手当があると思われているが、実際はほとんど支払われていない。学校経営者は財政が逼迫しているので支払うことができないと言いつつ、上手く公立に倣い利用している。また私学は公立に比べて非正規率がとても高く、全体の人件費は抑制されている。そして教員の入れ替わりが激しいため職場の協力関係の構築が難しい。

国と自治体からの補助金は生徒数に応じて配分されるため、熾烈な生徒獲得競争にならざるを得ず、その結果は賃金に見事に反映される。従って労使は対立しつつも、経営を成り立たせるということで

は協力せざるを得ない面もある。私学は各学校ごとに状況は異なるものの、労働条件、教育条件は公立を横睨みしているため両者は無関係ではない。もう少し公立の方も含めて意見交換ができれば良かった。

### 【第3分科会 英語で話そう】

この分科会には外国人組合員のほか、執行部および英語を堪能とする組合員計5名が参加しました。尼崎市のALTが行った賃上げの措置要求の結果について報告するとともに、参加したALTからは、派遣で雇われたALTの実態が報告されました。賃金が安いと昼食を抜いている派遣ALTや英語の技術面の問題(多くの派遣ALTはネイティブスピーカーではない)から、授業に出ることができずそのしわ寄せが直接雇用のALTにきていることなどです。少なくない自治体が派遣ALTを使っていますが、おそらく派遣法など遵守しないままとなっているはず。職場で困っている派遣ALTがいればぜひ組合に相談して欲しいです。



分科会報告のあとは、昨年12月5日に提訴した府労委決定取消訴訟の報告があり、配られたレジュメを噛み砕いた説明がありました。

(執行部)



府労委決定取消訴訟 第3回期日 7月8日(水) 11:00~ 大阪地裁809号

傍聴支援を!

新しい日常は20人学級から

教育現場の労働者が 誰でも入れる みんなでつくる教育合同

# ～教職員の健康と尊厳を守るため、学園の労働実態を徹底追及～

5月18日（月）、学校法人大谷学園との団体交渉を実施しました。今回は教職員の労働実態、安全・健康配慮、コンプライアンスのあり方、危機対応体制、学校の運営責任などについて多岐にわたる確認と協議を行いました。

## 【明らかにしたい現場の実態】

組合はまず、大谷中高における労働実態を確認するため、タイムカード未設置現場での就業時間把握、時間外労働の常態化や手当の支給状況、就業規則の内容などを確認しました。また、増担当授業分の手当不払いも指摘しましたが、校長の出席がないなか、法人

事務局長はほぼ回答できず、代理人弁護士が「保留のまま持ち帰りたい」とする事態となりました。

## 【『わいせつ防止法』制定の足もとで】

衆議院議員時代に「教員による児童生徒性暴力等の防止に関する法」の整備に尽力した元議員が理事長を務める大谷学園での、ガバナンスやコンプライアンスのあり方が問われる状況について、組合は特に強い問題意識を持っており、多くの客観的資料を提示しました。

とりわけ業務に起因する健康上の理由で退職した組合員

が、学校運営上の様々な危機対応のなかで、過度の心理的負担を集中して担わされ、強い倫理的葛藤や精神的負担を抱えながら業務に従事していた実態も指摘しました。

## 【あまりの案件の多さ】

組合はこの他にも、①精神疾患の診断書提出後も業務が継続されていた件、②理事による組合員の個人情報漏洩、③組合員の肖像権やプライバシー侵害などについても言及しましたが、ほぼ全ての案件が次回までの「持ち帰り」となり、団交後には代理人弁護士から「案件が多岐にわたり調査に時間を要する」として、次回

団交は夏期休暇期間中に改めて調整したい旨の回答がされています。

本件は単なる個別労務問題ではなく、教育現場における安全配慮、学校法人の危機管理、そして教育機関としての説明責任そのものが問われる問題です。組合は現場教職員の健康と尊厳を守る立場から、過重負担を防止する体制整備を強く求め、法人側に誠実な対応を求めています。

なお学園とは、大阪大谷大学勤務の外国人講師への対応についても、別途団体交渉が継続しています。

井上伸司（執行委員）

## 文化おちこち (288) 武道が西洋へ旅する

### ～My Own Journey Begins～

Last month I mentioned how important Bruce Lee and Jackie Chan were in introducing eastern fighting arts to the west, but my own interest in martial arts began much earlier when the Japanese drama, Journey to the West began showing on TV. The show was called 'Monkey' in English, after the main character, Son-Goku, and even though the action was more fantasy than actual fighting arts, with the characters often resorting to magic to fight demons, it really caught my interest. It offered a new way of thinking about physical combat, instead of the simple fist-fights or gun-fights that I was used to seeing in movies.

So about 10 years later, when a karate school opened up near my house I knew immediately that I was going to start taking classes. The dojo itself was in 4 squash courts with the original wooden floors and high ceiling, but with the dividing walls removed so it was very wide (about 25m). There was a very long row of mirrors at the front of the dojo which, as a complete beginner, was very intimidating because everything I did could be seen by everyone else. Every movement, every mistake, every stumble... there was nowhere to hide. I couldn't pretend I was fighting demons when everyone could see how clumsy I was. The seniors training in the class made everything look easy too, so it was painfully obvious that I was a complete beginner. But then slowly, after several months of training, as more new students came to join the class, I could start to see that I was making some small progress. The mirrors were reflecting a reality that I was now starting to feel empowered with changing. My journey had begun.

(孫悟空)

[Interesting sidenote: You can still watch Saiyuki every Saturday afternoon on San-terebi.]

\*日本語訳は来月掲載～

## 原発のなにより明日を！

### 傍聴全国集会 in おおさか

6月7日、うつぼ公園で原発全国集会が、1100人を集めて開催されました。あいにくの雨の中での集会でしたが、熱い発言が続き、充実した集会でした。現在、原発の発電量は、この国で必要とされる全電力の10%以下です。この電力量は、節電や再エネの活用で容易にまかなえる量だといわれています。再エネの発電量は世界規模で見ると世界で稼働している原発での発電量を大きく上回っています。更に再エネの方が安心、安全で低コストです。「データ捏造」「トラブル隠蔽」「約束反故」をしないと動かせない原発。福島では未だに「原子

力緊急事態宣言」下。使用済み核燃料の問題は解決不透明。再処理、中間貯蔵、乾式貯蔵と考えているようですが、この使用電力10%以下の部分にどれだけのお金とリスクをかけるつもりなのか。60年超えの原発再稼働を言い出し、更に新設計画を打ち出しています。原発に固執する政策は正気の沙汰とは思えません。脱原発、再エネへの転換を強く望みます。

高田晴美（執行委員長）



沖縄辺野古沖事故で文科省が学校法人へ政治的中立性を欠いた教育基本法違反と認定し是正指導▼事故の責任と政治的中立性判断を誤認混同した正に教育の中立性の侵犯▼2年

前の辺野古埋立工事のダンプが抗議する住民女性(重傷)と制止する警備員(死亡)をはねた事故▼女性を重過失致死、ダンプ運転手を過失運転致死傷で書類送検▼抗議活動へのバッシングの中、一気呵成ということか？